

令和8年度

牟岐中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①主体的に学習する姿勢を喚起し、基礎基本を定着させる授業の確立。
- ②体験活動や言語活動の充実。
- ③保小中の系統的な学習方法の確立。

校長

久保 善信

学力向上推進員

講師 多田 幸司

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や、教員による相互授業参観や情報交換を通して、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業には真面目に取り組み、朝自習にも集中して参加できている。また、課題の提出状況も良好である。 ●聞く力や読む力に課題が見られる。今後は、家庭学習の時間を確保するとともに、読書に親しむ機会を増やしていくことが望まれる。	・基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を目指し、日々の授業に意欲的な態度で取り組むことができる。学習内容を理解しようとする姿勢が見られ、課題にも前向きに向き合うことができる。 ・各教科の学習だけでなく、学校行事や体験活動などの幅広い教育活動においても、これまでに身に付けた知識や技能を活用しながら主体的に取り組むことができる。自ら考え、学んだことを様々な場面で生かそうとする姿勢が見られる。	・発問の内容や提示の仕方を工夫するとともに、生徒が自ら考え、意見を表現しながら主体的に学習に取り組める授業づくりを進めていく。 ・家庭学習調査を定期的実施することで、生徒の家庭における学習状況や取組の実態を把握し、一人一人に応じた助言や指導を行う。 ・相互参観授業を積極的に実施し、授業内容や指導技術の改善・向上につなげ、生徒の学習効果を高めていく。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○学習アンケートの結果から、多くの生徒が授業中に話をしっかり聞こうとする意識をもち、前向きな姿勢で学習に取り組んでいることがうかがえる。 ●自分の考えを発表したり文章で表現したりする力に課題が見られるため、考えを伝える活動の充実を図る必要がある。また、学習アンケートから読書や新聞を読む習慣のある生徒が少ないことが分かっており、語彙力や読解力の向上に向けて、読書活動を推進していくことが求められる。	・相手の話を最後まで集中して聞くことができるとともに、自分の考えや感じたことを根拠をもって発表したり、文章で分かりやすく表現したりすることができる。 ・読書や新聞に親しむ習慣を身に付け、様々な情報や考えに触れながら語彙力や読解力を高め、学んだことを日常の学習や生活の中で主体的に活用できる。	・授業において、自分の考えを発表したり文章にまとめたりする活動を計画的に取り入れる。ペア学習やグループ活動、発表の機会を充実させることで、自分の考えを根拠とともに分かりやすく伝える力の育成を図る。 ・朝読書や学級文庫、学校図書館の活用を推進し、生徒が日常的に読書に親しめる環境を整える。また、生徒の興味・関心に応じた図書を紹介することで、読書習慣の定着を図る。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業や課題には真面目に取り組むことができおり、学習に対する基本的な姿勢が身に付いている。また、ICT機器や書籍などを活用できる環境が整っており、新しい知識や情報に触れる機会をもつことができている。 ●自ら進んで発表したり、学校から示された課題以外の家庭学習に主体的に取り組んだりすることに苦手意識をもつ生徒が多い。そのため、自ら課題を見いだして学習を進める力の育成が必要である。	・授業や課題に真面目に取り組む姿勢を基盤として、自分の考えや意見を自信をもって表現し、主体的に学習活動に参加することができる。 ・学校から与えられた課題に取り組むだけでなく、自ら課題や目標を設定し、その達成に向けて計画的に家庭学習を進めることができる。 ・ICT機器や書籍、辞書などを積極的に活用し、分からないことや疑問に思ったことを自ら調べ、解決しようとする探究心と主体性を身に付ける。	・生徒が自ら学習目標や課題を設定する機会を設けるとともに、振り返り活動を充実させることで、自身の学習状況を把握しながら主体的に学習を進める態度を育成する。 ・学校図書館やICT環境の活用を促進し、生徒が必要な情報を適切に収集・活用できるよう情報活用能力の育成を図る。また、調べた内容をまとめたり発表したりする活動を通して、学びを深める機会を設ける。			